

1 教職員による自己評価について（平成23年7月実施）

(1) 集計結果

区分	No.	評価項目
学校経営・学校運営	①	学校教育目標、めざす児童像を意識しながら、教育活動を進めている。
	②	さまざまな教育活動が、学校教育目標達成のため、具体的な見通しを持って行われている。
	③	教育課程や指導計画は、本校の実態に即したものとなっている。
	④	教育公務員としての自覚を持ち、職務に従事している。
	⑤	職員間の連携や協力体制がとれている。
	⑥	職員間での報告・連絡・相談を密にするよう努めている。
	⑦	児童や教職員の個人情報の管理を適切に行っている。
	⑧	教職員の適性・能力に応じた校務分掌の分担がなされ意欲的に取り組める環境にある。
	⑨	職員会議が情報交換と課題検討の場として有効に機能している。
	⑩	学校行事は職員の共通理解の下に実施され、内容も適切である。
	⑪	教職員間の相互理解が十分になされ信頼関係に基づいて教育活動が行われている。
教科等の指導	①	児童が意欲的に取り組む指導内容・指導方法の工夫を図っている。
	②	教科の基礎的・基本的内容を確実に定着させようと努力している。
	③	個に配慮した授業を行っている。
	④	朝の学習（15分間）は、基礎学力の定着をめざしながら、効果的に実施している。
	⑤	宿題や家庭学習に対する指導を行っている。
	⑥	道徳では、生命尊重や思いやりの心を育てることを重視し、指導に努めている。
	⑦	総合的な学習では、ねらいをふまえた活動計画を立て、実践している。
	⑧	学級活動の指導に当たっては、児童の自主的・自発的な自治活動を意識して行っている。
	⑨	各教科等の授業時数を確保することに努力している。
生徒指導	①	あいさつや時間を守るなどの基本的生活習慣に関する指導を確実にしている。
	②	児童が我慢強く、粘り強くやりぬくことを意識した指導を行っている。
	③	教師と児童の心の触れ合いを深めるための活動を通して信頼関係を強めることに努めている。
	④	家庭との連携を密にし、教師と保護者の信頼関係を築くよう努力している。
	⑤	教育活動全体を通して、学習・生活のルールやマナーを身につけさせるよう努めている。
	⑥	教職員の共通理解の中、学校の決まりや約束ごとの指導をし、成果が見られている。
安全管理	①	校舎内外の安全点検を計画的に実施することにより、危険箇所・修理箇所の対応ができています。
	②	登校・下校時、または下校後の安全指導に配慮し、指導を行っている。
	③	施設・設備は安全に使用され、また活用されやすいように整備されている。
	④	緊急時の対応（防災・防犯）について共通理解が図られ、計画的に訓練がなされている。
研究・研修	①	研究会で話し合われた論理や方法、授業研究の成果を日常の実践に生かそうとしている。
	②	教材研究を積極的に行い、授業の改善・工夫に努めている。
保護者・連携・地域	①	授業参観・部会・学校公開は、学校との連携を深めるために、有効に活用されている。
	②	学校・学年・学級だよりなどにより、適時必要な情報提供を図っている。
	③	地域の人材や文化財・自然環境などを、積極的に教育活動に取り入れるよう努力している。
その他	①	清掃、花壇の管理、花作りなど、美しい環境づくりの推進に努めている。

そう思う
 ほぼそう思う
 あまりそう思わない
 そう思わない
 答えられない



≪課題と解決策のまとめ≫

◎人の話を聞く」の取り組みについて

- 「こんなことをしてみるといいかな。」と思うことを、ブロックごとに内容を決めて取り組んでみる。校内研究とリンクさせて取り組んでみる。

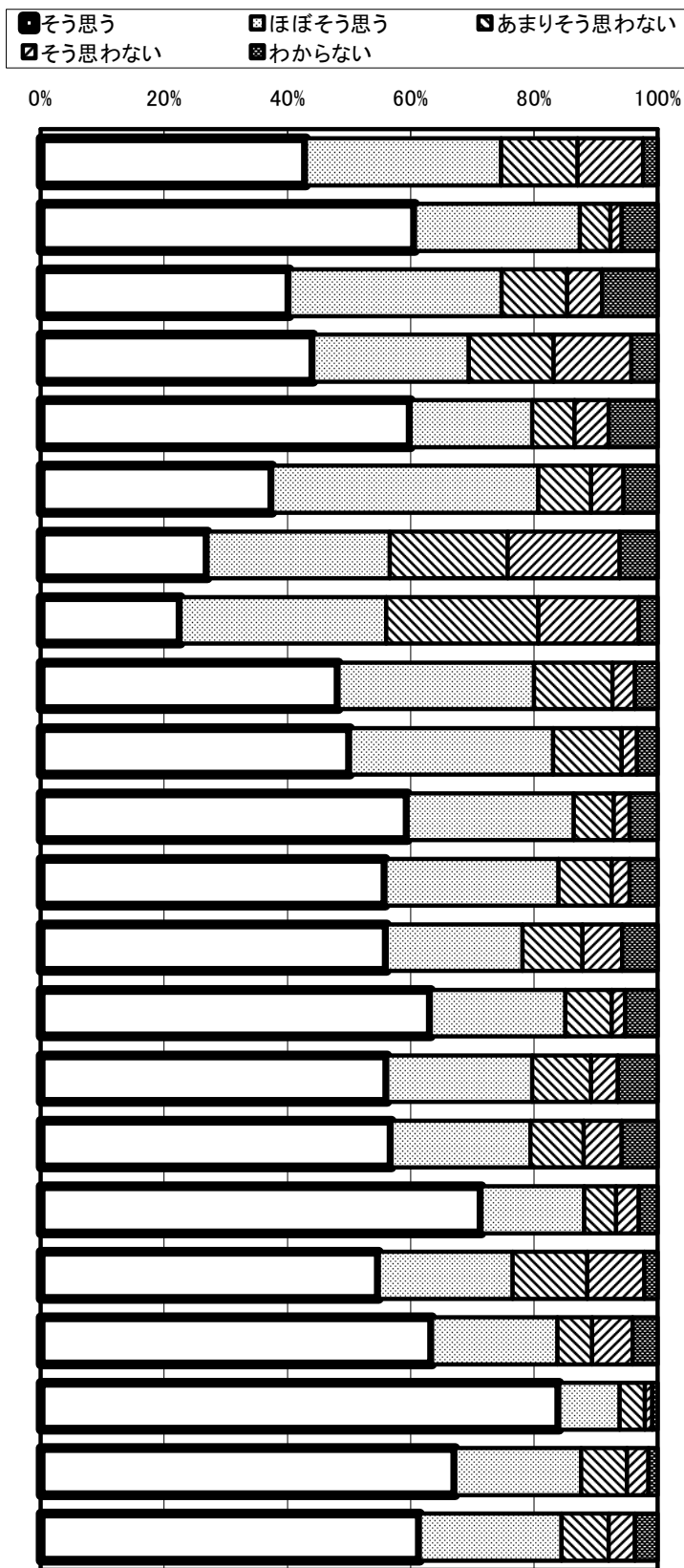
◎学力向上への取り組み

- ① 朝学習の取り組みに対するルールづくり
- ② 個別指導の時間確保
 - 行事の精選：ホッケー練習，林間学校・修学旅行の取り組み，運動会，児童会活動，ボランティアサポート
 - 月曜日の6校時，会議や委員会・クラブのないときは，ふれあいの日としてゆとりの時間とする。
- ③ 授業方法の改善
 - 学習ルールづくり（校内研究とリンクさせ，取り組んでみる）
 - 合科的な学習への取り組み

2 児童アンケートについて（平成23年7月実施）

（1）集計結果

質 問 項 目
① わたしは、学校へ行くことが楽しい。
② わたしは、友達と仲良くしている。
③ わたしは、友達にいやがることを言ったり、いやがることをしたりすることが最近ない。
④ わたしは、友達からいやがることを言われたり、いやがることをされたりすることが最近ない。
⑤ わたしには、困った時に、相談にのってくれる友達がいる。
⑥ わたしは、授業がわかる。
⑦ わたしは、授業でわからないことなどを先生に質問しやすい。
⑧ わたしは、自分で考えたことを、進んで発表している。
⑨ わたしは、先生や友だちにしっかりあいさつをしている。
⑩ わたしは、掃除や自分の仕事に、しっかり取り組んでいる。
⑪ わたしは、命の大切さや社会のきまりについて、学んでいる。
⑫ わたしは、自分を大切にすることや友だちへの思いやりについて、学んでいる。
⑬ 先生は、わたしたちの意見や考えをよく聞いてくれる。
⑭ 先生は、勉強でわからないところがよくわかるように教えてくれる。
⑮ 先生は、わたしが努力したことを、認めてくれる。
⑯ 先生は、いじめやけんかでわたしたちが困っている時、よく取り組んでくれる。
⑰ 先生は、やってよいこと・悪いことを、しっかりと教えてくれる。
⑱ わたしは、家族に学校での出来事について、よく話す。
⑲ わたしは、家で交通事故や不審者から身を守る方法を教えてもらい、気をつけている。
⑳ わたしは、朝ごはんを食べて、登校している。
㉑ わたしは、学校からの便りや通知を、家の人にわたしている。
㉒ わたしは、家庭学習（宿題など）をしっかりと行っている。



【参考】

- ①「わたしは、学校へ行くことが楽しい」…71.6%（そう思う=43.0%，ほぼそう思う=31.6%）
 ⑥「わたしは、授業がわかる」…80.6%（そう思う=37.5%，ほぼそう思う=43.1%）
 ⑭「先生は、勉強でわからないところがよくわかるように教えてくれる」
 …85.0%（そう思う=63.2%，ほぼそう思う=21.8%）

《考察》

◎学校生活について

*集計結果①～⑤ ⑪⑫に関して

○困ったときに相談にのってくれる友だちがいて、友達と仲良くしていると回答している児童が多い。それらのことが大きく関わって、学校生活を楽しいと感じている児童が多いものと思われる。

△友だちにいやがることを言ったり、いやがることをしたりすると回答している児童に比べ、いやがることを言われたり、されていると感じている児童の方が多い。このことから、働きかけるほうはそのつもりがなくても、受け止める側は嫌だと感じていることが考えられる。日頃の学級指導でも、子どもたち同士の話を聞いてみると、「そういうつもりじゃなかった」ということがある。相手への心配りをお互いにしていける大切さや、誤解を解くために友達同士で話をさせたり、教師が話を聞いてあげることも必要かと思われる。そのことが、学校生活をあまり楽しくないと回答している児童への支援にもつながるのではと予想される。

*集計結果⑨～⑩に関して

○あいさつをしていると回答している児童の割合は、80パーセントで多くの児童は自主的にあいさつをしている。回答の様子は、昨年とほぼ同じである。3年生を中心としたあいさつへの取り組みや、6年生のホッケー参加者からの朝のあいさつなど全校へのいい影響があったと思われる。

教師側の受け止めは、もっとあいさつができるようになってほしいと感じているので、昨年同様ずれがあるが継続して働きかけていくことが必要かと思われる。

◎学習について

*集計結果⑥～⑧ ⑬～⑰に関して

○授業がわかると回答している児童が多い。このことは、学校生活が楽しいにもつながっていると思われる。

○先生たちの聞く姿勢や指導のあり方については、おおむねよいと受け止めている。

△授業で質問しやすいか、進んで発表しているかについては、できていないと回答している児童が多い。これは、昨年度にも同じ傾向がみられた。発表力や、発表しやすい環境づくりへの手立てや工夫をしていくことが必要と思われる。

△子どもたちの先生たちへの受け止め方は、おおむねよいではあるが、反面⑬⑮⑯の回答をみると、友だちとトラブルなどあったときや、自分たちが考えていることなどもっと聞いてほしい、また自分の努力を見てほしいと感じている児童への対応の必要も感じる。

◎家庭でのことについて

*集計結果⑱～㉒

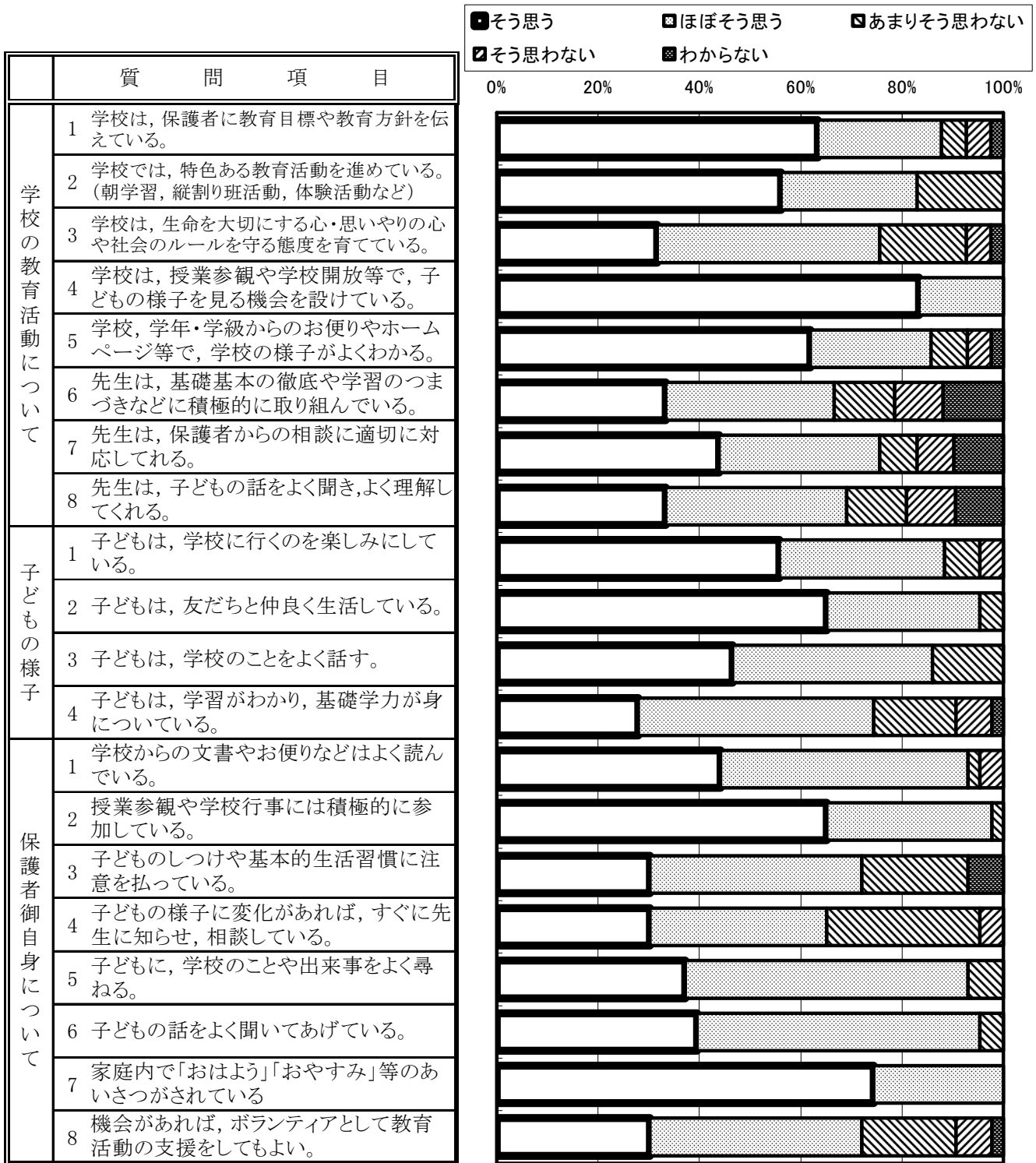
○ほとんどの子が朝ごはんを食べている。

○家庭学習（主に宿題をさしていると思われるが）は身につけている児童が多い。家庭学習をしない児童の数値は昨年とほぼ同じである。定着しない児童は、なかなか改善されずにいるのかもしれない。

△学校での出来事はあまり話さない様子が見られる

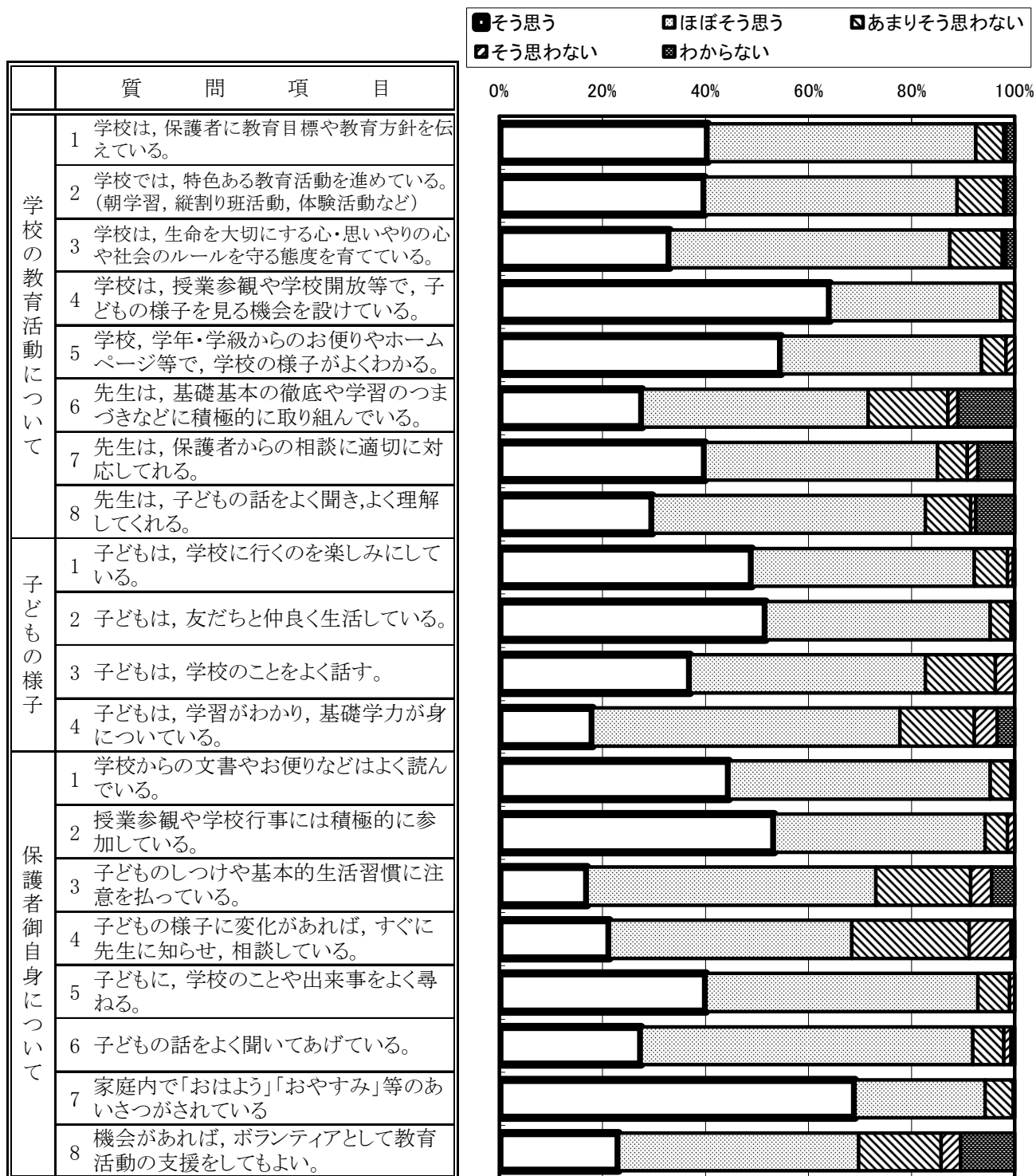
3 保護者アンケートについて（平成23年7月実施）

(1) PTA役員集計結果



そう思う ほぼそう思う あまりそう思わない
 そう思わない わからない

(2) 保護者集計結果



《考察》

◎アンケート全体より

○PTA役員の回答と保護者の回答が同じような傾向であり、「分からない」を除くと、80%以上の保護者が肯定的な回答を占めるため、PTA役員及び保護者は学校教育に対しては十分理解を示してくれていると考えてよい。

◎学校の教育活動について

○「先生は、基礎基本の徹底や学習のつまづきなどに積極的に取り組んでいる」、に対する否定的な回答がおおよそ20%を占める。

◎子どもの様子について

○「子どもは、学習がわかり、基礎学力が身についている」に対する否定的な回答がおおよそ20%を占める。

*この2と3の「基礎学力」については、同様な傾向にある。この割合を少しでも減少させるため、今後も、少しずつ対応を考えていきたい。

◎保護者自身について

- 「子どものしつけや基本的な生活習慣に注意を払っている」「子どもの様子に変化があれば、すぐに先生に知らせ、相談している」に対する否定的な回答がおよそ20%を占める。特に、「子どもの様子に変化があれば、すぐに先生に知らせ、相談している」については、30%以上が否定的な回答になっている。